

資料の整理と活用

1 次の表は、30人の生徒の身長をはかり、度数分布表にまとめたものである。

(1) 最頻値（モード）を求めなさい。

身長（cm）	度数（人）
以上 未満 130 ～ 140	4
140 ～ 150	9
150 ～ 160	11
160 ～ 170	4
170 ～ 180	2
計	30

(2) 160cm以上の生徒の相対度数を求めなさい。
また、その割合を求めなさい。

2 生徒15人が1週間で読んだ本の冊数を調べたものである。

2	4	4	6	1	0	8	1	2	5	9	4	3	1	7	1	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

①最頻値（モード）を求めなさい。

②中央値（メジアン）を求めなさい。

③範囲を求めなさい。

資料の整理と活用

1 次の表は、30人の生徒の身長をはかり、度数分布表にまとめたものである。

(1) 最頻値 (モード) を求めなさい。

→ 度数の最も高い階級の階級値
→ 階級の中央の値

155 cm

(2) 160 cm以上の生徒の相対度数を求めなさい。

また、その割合を求めなさい。

$$\frac{(4+2)}{160\text{ cm以上の生徒の合計}} = \frac{6}{30} = 0.2$$

資料の総数

※割合は相対度数に100をかける。
 $0.2 \times 100 = 20\%$

身長 (cm)	度数 (人)
以上 未満 130 ~ 140	4
140 ~ 150	9
150 ~ 160	11
160 ~ 170	4
170 ~ 180	2
計	30

2 生徒15人が1週間で読んだ本の冊数を調べたものである。

度数分布表なし

2 4 4 6 1 0 8 12 5 9 4 3 1 7 10

①最頻値 (モード) を求めなさい。

→ 最も多い資料

4

②中央値 (メジアン) を求めなさい。

→ 資料を小さい方から並び中央の値を調べる

4

③範囲を求めなさい。

→ 最大値 - 最小値

$$12 - 0 = 12$$

0
1
2
3
4
4
4
5
6
7
8
9
10
12

④ 中央値

例

0
1
2
3
4
4
5
6

$$\begin{aligned} & \textcircled{3} > (3+4) \div 2 \\ & \textcircled{4} > = 7 \div 2 \\ & & = 3.5 \\ & & (\text{平均}) \end{aligned}$$

(資料が偶数の場合)

(資料の数が奇数の場合)